

ふれあい119



口内保育園幼年消防クラブが防火パレード

北上市立口内保育園（館川とし子園長、園児57人）の園児は秋の全国火災予防運動に先駆け、地区消防団や婦人消防協力隊などのご協力を頂き、毎年防火パレードを行っています。

今回も半てんを着た園児が3台の消防自動車に先導され、拍子木を打ちながら大きな声で「火の用心」と防火を呼びかけていました。

年長組の女の子は「疲れたけど楽しかった。帰ったらお父さんお母さんに教える。」と話していました。

『消さないで あなたの心の 注意の火。』



春は、空気が乾燥して火災の発生しやすい季節です。恐ろしい火災で家族の尊い生命や大切な財産を失わないために、次の事に注意しましょう。

つけていてよかった

住宅用火災警報器

火災警報器によって火災に早く気づいた事例を、消防庁に寄せられたなかから紹介しましょう。



事例1

住宅から警報音がするのを隣人が気づいた。見るとその家から煙が出ていた。鍵が掛かっており中に入れなかったため119番通報した。現場到着した消防隊が鍋の空炊きを発見しコンロの火を消し大事に至らなかった。

この家の主婦がコンロの火を消すのを忘れて隣の病院に出かけたもので、当時誰もいなかった。住宅用火災警報器は、9日前に設置したばかりであった。

(鹿児島県鹿児島市)

事例2

午前6時40分頃、木造2階建て住宅の1階居間から出火。住人は2階の寝室で就寝中であつたが、階段に設置していた住宅用火災警報器の音に気づき屋外に避難した。消防の通報は付近住民からで、住宅は全焼した。

(兵庫県三田市)

自主防災組織を作ろう！

個人、家庭ごとに防災活動をしていても、いざというとき効果が期待できません。地域に住む皆さんが協力して災害に強い街づくりをしよう。

組織づくりの手順



① 災害地域について勉強し、地域内の防災活動の必要性を確認する。



② 防災活動が必要だと考える住民が集まり、地域でどんな防災活動をどのように進めるか相談する。



③ 防災活動を地域内に広げていく。

自主防災組織の原則

目標



活動目的や内容が明確・適切であること。



楽しく訓練などに参加できること。

携帯電話から119番通報する場合は、次の要領で、

あわてず、正確に！



- 一、災害発生場所、道路、その付近にある目標物などを確認してから通報しましょう。
- 二、近くに一般加入電話・公衆電話がある場合はそれらを優先しましょう。
- 三、自動車からの通報は、安全な場所に停止してから通報しましょう。
- 四、消防車・救急車が到着するまで携帯電話の電源はきらないようにしましょう。

平成18年の火災件数

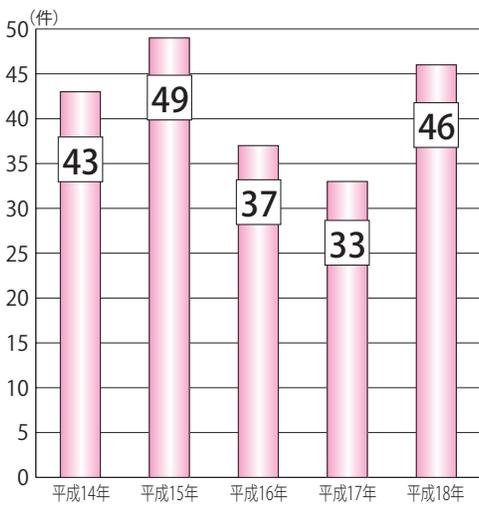
平成18年1月から12月までに北上地区消防組合管内（北上市、西和賀町）で発生した火災は46件で、前年に比べ13件増加しました。焼損棟数は44棟、建物焼損面積は、4811平方メートルで、火災損害額は約5億3千万円となっています。

火災種別では、建物火災が34件、林野火災が1件、車両火災が5件、その他火災が6件となっています。

出火原因は、放火（放火の疑い含む）が9件、ストーブが5件、たばこ・こんろ・たき火がそれぞれ4件、衝突の火花が2件、溶接機が1件、その他（油布・溶融片他）が11件、不明が6件となっております。

死者は、3人で前年に比べ1人増加しました。負傷者は14人で前年に比べ8人増加しました。

過去5年間の火災動向 出火件数

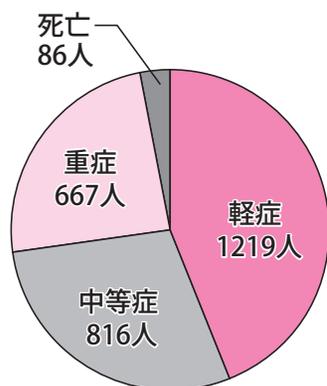


平成18年の救急出動件数 「タクシー代わりが増えています。」

平成18年中に救急車が出動した件数は、2894件で一日約8件出動しています。10年前の平成8年に比べ1154件増加しており、同一時間帯に複数出動することも多くなりました。

傷病程度別搬送人員は円グラフのとおりで、最も多いのは軽症の約44%です。緊急性がない場合は自家用車や介護タクシーのご利用をお願いします。

傷病程度別搬送人員 (総人員2,788人)



救急車が到着するまでの応急手当が患者さんの予後を左右します。個人、事業所等概ね10人位から応急手当講習に出張します。

継続的に講習会を受講して頂いている主な学校、事業所をご紹介します。

- 岩手県立北上翔南高等学校
- 専修大学北上福祉教育専門学校
- 岩手東芝、JR北上駅

優良消防団として表彰

西和賀町消防団が2月9日財団法人日本消防協会から、優良消防団として表彰を受け、高橋久雄団長に表彰旗が授与されました。今年度岩手県内では唯一かつの受章です。

日本消防協会の優良消防団表彰は、消防団にとっては荣誉ある賞で、町村合併後の西和賀町消防団員には更なる活躍が期待されます。

昨年、優良消防団としての受検申請をしてから、連日連夜に渡り訓練を行い、8月27日湯本小学校グラウンドに於いて訓練の成果である審査を受けました。

岩手県消防協会会長佐々木俊夫氏他5名の審査員が見守るなか、緊迫感のある総合訓練が開始されました。

部隊訓練やラップ訓練そして防ぎよ訓練などは、短期間の訓練とは思えない高度な訓練を披露することができ、胸の内はわずかな不安がありました。が訓練種目が終わるつど不安から感動に変わりました。

訓練終了後審査委員長を兼ねる佐々木会長から「統制がとれた高度な訓練内容だった。」とお褒めのご高評を頂きました。その甲斐があつて今回見事に優良表彰旗を手に入れることができました。西和賀町消防団員の皆様おめでとうございます。

遠距離からの中継送水

北上市消防団と北上地区消防組合では春と秋の火災予防運動期間中の行事として火災御訓練を行っています。

昨年、秋の防御訓練は、市立煤孫小学校周辺で実施されましたが、付近には有効な水利がなく遠距離中継放水となりました。その後、地域の方々が多く参加して煙体験や消火器を使った初期消火訓練が行われました。

9月に設立されたばかりの「煤孫2区防災会」の武田初夫会長は「自主防災会結成後の訓練はこれが初めてであったが、煙体験、消火器訓練とも皆さんが真剣な取り組みでより充実した訓練が出来、地域の防災意識をさらに高めることが出来た。」と話していました。

なお、春の火災御訓練は3月4日(日)午前7時から市立更木小学校周辺で実施されます。地域住民のご協力をお願いします。



自分のまちは、自分で守る。



あなたも、消防団に参加しませんか

平成19年2月 ○編集・発行／北上地区消防組合消防本部広報編集委員会
〒024-0083 北上市柳原町二丁目3番6号
TEL 0197-64-1122 FAX 0197-65-5170 災害情報案内 0197-65-5119
<http://www.firedp.kitakami.iwate.jp>